

脱原発のその先へ

2011年3月11日、福島で原発事故が起きました。

18歳当時、18年前のムルロア環礁沖フランス核実験の反対運動に参加しました。大学で物理学を学びました。核爆弾は比較的簡単に作れるが、爆発を制御する原発は難しい。原発が世界中に広がる事は、核爆弾を拡散するのと同じ。マグニチュード7以上の地震の16%は日本で起こっている。そんな日本に原発をどんだん作るのは異常。そう考えふるまってきましたが、今回の事故を寸分も止められませんでした。私は反対していた気分になっていただけでした。誤解を恐れず言いますが、今回の原発事故は私たち大人が引き起こした事故です。結果、子供たちに悲惨な未来を理不尽に残しました。私たちは最低限の責任として、子供たちを守る必要があります。減染・除染もそうですが、また別の視点で、社会を構築しなければならぬ時期にきています。3.11の原発事故とその後を見ると、アインシュタインの言葉を思い出します。「ある問題を引き起こしたのと同じマインドセットのままです。その問題を解決する事はできない。」ここで言うマインドセットとは、枠にはまった物の見方・考え方です。地球環境問題や原発事故等の問題を、私たちはその危機を引き起こしたのと同じマインドセットで考え、解決できるように思いこみ、ふるまっているのではないか。そんな不安に苛まれます。化石燃料が駄目なら原発で！食糧危機なら遺伝子組み換えで！…原発が駄目なら自然エネルギーで！？瞬間瞬間で対策を考え、実行していくことは大切で必要だという事は十分承知しています。ただその上で、今までの歴史で繰り返されているマインドセットをなんとか破って、その向こうで未来を、ビジョンを描かなければならないです。私たちはどういう風にするまえば良いか。考えていく時期です。この切り口でもう少し、お伝えしたい事がありますが、紙面の都合により、次回少し違うテーマで改めて述べます。「今後の市川市の未来・ビジョン」を思い描き話し合ってください。個々人の想いが集まっていけば、良い社会、街が形成されます。今日も1日、素敵な日を過ごせますように。気をつけて行ってらっしゃいませ！

平成24年8月23日

増田好秀